令和3年度
福島県地域創生総合支援事業
（サポート事業）
県南地方実績報告書

福 島 県 県 南 地 方 振 興 局

―――実施事業一覧―――

■一般枠

① しらかわ産品販売促進事業（しらかわ産品販売促進協議会）［白河市］

② 白河フードフェス 2021（白河フードフェス実行委員会）［白河市］

③ 文学による人づくりまちづくり事業（中山義秀顕彰会）［白河市］

④ 朝活しらかわ！ゼロからマルシェ（特定非営利活動法人 NEXT しらかわ）［白河市］

⑤ 福島県南で「むすぶ」（むすぶ）［白河市］

⑥ 若者地元就職促進・マッチング創出事業（ふくしま県南地元企業説明会実行委員会）［白河市］

⑦ しらかわ地域文化継承事業（白河まつり振興会）［白河市］

⑧ 子育て世代の働き方改革スタートアップ交流事業（特定非営利活動法人わくわく）［西郷村］

⑨ NANKO WORK PROJECT –渋沢栄一×松平定信 南湖を彩る系譜-
（南湖公園魅力発信事業実行委員会）［白河市］

⑩ Shirakawa Week2021（Shirakawa Week 実行委員会）［白河市］

⑪ ドライブスルー白河マルシェ（公益財団法人白河観光物産協会）［白河市］

⑫ 白河“オンライン”だるま市開催事業（白河だるま事業協同組合）［白河市］

⑬ 翔んで 白河の関（青空バル実行委員会）［西郷村］

⑭ 地元プロゴルファーによる「ふくしまゴルフプロジェクト」応援・支援事業
（福島県プロゴルフ会）［西郷村］

⑮ にしごう祭り（にしごう祭り実行委員会）［西郷村］

⑯ 若者たちと考える。6 次化商品の開発・PR 販売事業（矢吹町バンド連合会）［矢吹町］

⑰ Fukushima348（みよや）まあるい旅奥州玄関口編（一般社団法人ニワトコ）［棚倉町］

⑱ 県南地方狛犬の里づくり（福島県県南地方狛犬ネットワーク）［白河市］

⑲ 芭蕉白河の関俳句賞事業（芭蕉白河の関俳句賞実行委員会）［白河市］

⑳ 郷土未来人材育成プロジェクト（白河商工会議所青年部）［白河市］

㉑ スポーツの力で地域ブランディング（公益社団法人白河青年会議所財政室）［白河市］

㉒ リノベーション@本町キタウラ事業（しらかわ本町未来研究所）［白河市］

㉓ しらかわにぎわいプロジェクト（しらかわにぎわいプロジェクト実行委員会）［白河市］

㉔ はなわのダリア体験型イベント創設事業（一般社団法人塙町観光協会）［塙町］（過疎・中山間）

■旧健康枠

㉕ にしごう健幸づくり事業（西郷村）［西郷村］

㉖ お年寄り健康・生きがいづくり推進事業（矢吹町）［矢吹町］

㉗ 強く逞しくなろう！生きるとは挑戦すること！（公益社団法人白河青年会議所企画室）［白河市］

㉘ 復興元気発信！やぶき体育祭り開催事業（矢吹町体育協会）［矢吹町］

㉙ 高齢者の筋肉づくり講座（矢祭町）［矢祭町］

■市町村枠

㉚ しらかわ産業活性化・復興支援事業（白河市）［白河市］

㉛ 農産物産館まるごと西郷館を核とした産業振興事業（西郷村）［西郷村］

㉜ 「持続可能な開発目標（SDGs）」で開拓する YABUKI2030 プロジェクト事業（矢吹町）［矢吹町］

㉝ 美しい村づくりステージアップ事業（鮫川村）［鮫川村］

㉞ アジアンインバウンド誘致事業（ふくしま県南観光推進協議会）［県南 9 市町村］

㉟ 東白川地方自転車活用推進事業（東白川サイクリング推進会議）［東白川郡］

㊱ 総合結婚支援復興事業（白河市）［白河市］

㊲ わくわく棚倉城食フェスタ（棚倉町）［棚倉町］

㊳ 塙町サイクル・ツーリズム推進事業（塙町）［塙町］

■過疎・中山間地域活性化枠（収益事業（スタートアップ事業））

㊴ 高齢者への移動販売及び、首都圏イベントでの地場産品 PR 事業

（特定非営利活動法人表郷ボランティアネットワーク）［白河市］

㊵ もっちょり（持ち寄り）ば～ばのパラダイス and マルシェ

（農村女性高齢者生きがいづくり支援の会）［鮫川村］

（１）しらかわ産品販売促進事業

一般枠

新　規

【実施団体名】　しらかわ産品販売促進協議会（白河市）

事業の目的

県南地方では多くの地場産物が生産されているが、その販路拡大が大きな課題となっている。しかし、各事業者が単独で商品の PR・販売促進を図るには限界があり、より効果的に取り組む必要があるため、しらかわ地方の地場産品を「楽翁堂」のブランド名で、各商品をセットにして販売することにより、個々の商品の魅力をアップして PR 及び販売促進を図る。

事業の内容

事業内容：

○しらかわ地方の地場産品の情報発信事業
・パンフレットや PR 動画の作成　・ホームページの運営
○しらかわ地方の地場産品の販売促進事業
・通販サイトの運営、各種ギフトセットの調製
○地場産品を通じた交流事業
・地元企業訪問による PR 活動　・行政、企業、各種団体との交流イベント

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	1,529
補助金	-	-	1,000

＜ 楽翁堂ポスター ＞

＜ 楽翁堂ロゴお酒セット ＞

事業の成果・効果

○県南９市町村を対象としており、幅広い内容のセット商品ができるため、行政関係者からの注文が多数あった。それにより、会員も積極的に運営に関わってくれるようになった。

今後の展開等

○SNS を通じて商品を PR するなど、積極的な情報発信に取り組む。

（２）白河フードフェス 2021

一般枠

新　規

【実施団体名】　白河フードフェス実行委員会（白河市）

事業の目的

白河市の多くの飲食店が、新型コロナウイルス感染症の影響で利用と売り上げが大幅に落ち込んでいる。そこで、白河市内の飲食店の利用を促進させるために、お店を回り賞品が当たるスタンプラリーを実施することで、地域経済の活性化と交流人口創出につなげる。

事業の内容

事業内容：

○「しらかわフードデジタルスタンプラリー2021」
・白河市内（一部市外含む）の飲食店を巡るスタンプラリー
・令和３年 11 月 15 日～12 月 25 日の１ヶ月間実施

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	3,000（2,970）
補助金	-	-	1,979

＜ チラシ表 ＞

＜ チラシ裏 ＞

事業の成果・効果

○スタンプラリー参加店及び利用者は目標より少なかったが、コロナ禍で苦しむ飲食店のサポートをすることができ、少なからず街の活性化に寄与できた。
○白河市内在住者だけでなく、郡山市や福島市などの利用者もいたため、飲食以外で観光地やレジャーを楽しんでいたことを想像すると、地域経済に貢献することができた。

今後の展開等

○参加店を増やしていく。
○開催日時を早期に決定し、告知期間を長めに設定するなど、利用者の増加を図る。
○チラシやポスターの設置場所を増やす。

（３）文学による人づくりまちづくり事業

一般枠

新　規

【実施団体名】　中山義秀顕彰会（白河市）

事業の目的

現在、白河市は文化芸術創造都市宣言をしているが、まだまだ文学への関心が低く創作活動が活発とは言い難い。地域住民の文学への関心を高め、創作活動を活発化させることで、地域全体の芸術活動の振興につなげていく。また、子どもから大人までの教養・文化の向上と文学による交流人口の創作に寄与し、大信地域を発展させていく。

＜ 文学ウォーク ＞

事業の内容

事業内容：

○文学の散歩道整備
○復刻本の制作・配布
○作文コンクール作品集の製本
○文学テーマ展の開催
○文学講演会、文学解説講座の開催
○文学ウォークの開催

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	1,881（1,880）
補助金	-	-	1,220

＜ 「義秀の描いた戦国時代」展 ＞

事業の成果・効果

○テーマ展の開催の結果、文学館への来館者が大幅に増加した。また、文学の散歩道の整備、復刻本の配布などによって、文学への関心が高まった。
○白河市内だけでなく、県外など遠方からの参加もあった。

今後の展開等

○中山義秀を紹介するDVDやマンガ本を制作し、学校や図書館をはじめとする関係機関等に配布していく。
○今年度効果のあった事業については、継続的に実施していく。

（４）朝活しらかわ！ゼロからマルシェ

一般枠

新　規

【実施団体名】　特定非営利活動法人 NEXT しらかわ(白河市)

事業の目的

コロナ禍でまちの活気が失われている現在の状況を打破するため、トレーラーハウスを活用した移動型のマルシェを開催することで、特に交流人口の少ない朝に活気をもたらす。また、コロナを含む様々な要因により、売る場所がない、売り先に悩む事業者へ販売場所を提供することで、経済活動の活性化等に繋げる。

事業の内容

事業内容：

○移動型マルシェの開催
・白河市内や西郷村などで、トレーラーハウスを中心とした移動型マルシェを開催。（計 12 回開催し、出店者のべ 60 店舗、来場者のべ 2,160 名）
・管内の事業者だけでなく、福島市や郡山市などからも出店があった。

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	4,315
補助金	-	-	2,825

＜ マルシェの様子① ＞

＜ マルシェの様子② ＞

事業の成果・効果

○新聞記事への掲載、テレビ局、ラジオ局の取材があったほか、来場者による SNS での情報発信により、遠方からの来場者が多くあった。

今後の展開等

○開催の可否や収益等が天候に大きく影響されるため、天候に左右されない仕組みづくりをしていく。
○出店料等による自己財源を確保していく。

（５）福島県南で「むすぶ」

一般枠

新　規

【実施団体名】　むすぶ(白河市)

事業の目的

白河市内をはじめとする福島県南地域には、風景や既存施設から特産品に至るまで、その価値が適正に評価されていないものが少なくない。本事業では、そうした地域資産の活用を「外部目線」で行うことで再評価されることを目指し、本事業で実施するイベントにより、地域ににぎわいが創出されることで、関係人口の拡大を図る。

事業の内容

事業内容：

○なのはなラウンジの開催
○地元産楮を活用した卒業証書制作ワークショップの開催
○地元産楮を活用した和紙漉き＆だるま制作ワークショップの開催
○県産木材を利用した木工 DIY ワークショップの開催

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	439
補助金	-	-	292

＜ 卒業証書制作ワークショップ ＞

＜ 県産木材ワークショップ ＞

事業の成果・効果

○各イベントの参加者に口頭でのアンケートを実施したところ、「こうぞ」や「木材」についての馴染みを高くなかったが、実物を手に取ることで、その良さを実感してもらうことができた。

今後の展開等

○次年度以降も引き続き、県南地域が誇る自然や資源、技術等を活用した事業を実施し、その良さを PR していく。
○卒業証書の制作など「地域が喜ぶ」活動も並行して実施していく。

（６）若者地元就職促進・マッチング創出事業

一般枠

新　規

【実施団体名】　ふくしま県南地元企業説明会実行委員会(白河市)

事業の目的

福島県県南地域は、少子高齢化や若者の地域外流出による人口減少が続き、産業を支える労働力確保の点で大きな課題を抱えている。地域の将来を担う若者（県南地域の高校生対象）が地元企業を知る機会とマッチングの場を創出し、地元企業への就職促進を図る。

＜ 専用ホームページ ＞

事業の内容

事業内容：

○企業ガイドブックの作成、配布
・企業情報を掲載した企業ガイドブックを作成し、学生に配布。
・塙工業高等学校にて贈呈式を実施。
○専用ホームページの作成、参加企業情報の公開
・地元企業説明会参加企業の情報を掲載した HP を作成。
・うち 31 社の企業紹介、録画配信型動画を HP 内で公開した。

＜ 企業紹介ページ ＞

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	568
補助金	-	-	356

事業の成果・効果

○コロナ禍で、企業・学生とも行動の制限が課されており、思うような求人・求職活動ができないなか、地元企業の各種情報を提供できたことで、求職学生の活動への支援を行うことができた。

今後の展開等

○企業ガイドブックの掲載内容の充実を図り、より学生に各企業の強みや良さを具体的に伝えることができる内容にしていく。
○要望の声が多い企業説明会の集合開催に向け準備を進めていく。

（７）しらかわ地域文化継承事業

一般枠

新　規

【実施団体名】　白河まつり振興会(白河市)

事業の目的

コロナ禍でまつりが中止となり、伝統が途絶えかけているいま、改めてまつりについて紹介する機会を設けることで、歴史ある白河のまつりを後世に引き継ぐと共に、アフターコロナへ向けて白河のまつりの認知向上に努める。

事業の内容

事業内容：

○ホームページ制作
・「白河関の踊り流し」「白河提灯祭り」「白河だるま市」の歴史や開催概要などを紹介するホームページを制作。
○白河関の踊り流しお手本動画制作
・白河関の踊り流しの振り付けを分かりやすく解説する PR 動画を制作。

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	644
補助金	-	-	304

＜ 白河おどり振り付け動画 ＞

＜ ホームページ ＞

事業の成果・効果

○ホームページでまつりについてまとめ紹介することによって、地域の方々をはじめ、多くの方が白河のまつりについて知る機会を設けることができた。
○振り付け動画の制作によって、誰もが気軽に白河おどりに親しむことができるようになったほか、なんとなく覚えていた歌詞を詳しく知ることができたという声もいただいた。

今後の展開等

○白河関の踊り流しをはじめ、まつりを開催し、参加者・来場者の誘致を図る。
○引き続き、白河のまつりを市内外へ PR するとともに、子どもたちを対象としたおどり教室などを開催し、愛着を育めるよう努める。

（８）子育て世代の働き方改革スタートアップ交流事業

一般枠

新　規

【実施団体名】　特定非営利活動法人わくわく(西郷村)

事業の目的

「子育てしながらの働き方」をテーマとして、年間を通して各種事業を展開することで、子育て世代が悩みを共有しながら、これからの働き方を身につけられる場所づくりを行う。

事業の内容

事業内容：

○ワークショップの開催
　・子育てや仕事と家事の両立についての相談や解決案を話し合う。
○ビジネス体験教室の開催
○ビジネスの創出に向けた先進事例の勉強会

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	1,230
補助金	-	-	810

＜ 地域で仕事と家事を両立する皆さん ＞

＜ 参加者の皆さんと講師の方 ＞

事業の成果・効果

○子育てと仕事を両立し、地域で活躍している方をワークショップに招くことができ、より身近に家事と仕事を両立している方の見本を見せることができた。
○白河市内の団体の協力を得ることができ、地域を巻き込んでの相談支援事業となった。また、参加者が悩みを打ち明けたり、励まし合う姿が見られ、より相乗的な効果をもたらすことができた。

今後の展開等

○引き続き対象者の支援を行い、子育てに悩む世代が相談できるコミュニティ作りをしていく。
○オンラインでの支援を可能にするなど、より多くの方を支援できる環境を作っていく。

（９）NANKO WORK PROJECT－渋沢栄一×松平定信　南湖を彩る系譜－

一般枠

継続２年目

【実施団体名】　南湖公園魅力発信事業実行委員会（白河市）

事業の目的

南湖神社にゆかりのある渋沢栄一が NHK 大河ドラマの主人公や新紙幣の肖像画に採用されること、さらには、国道 294 号バイパス整備により南湖公園周辺の周遊性が高まることを契機に、市内外へ南湖公園の魅力発信と誘客促進を目的に、地域住民と連携したイベントや講演会等を実施する。

事業の内容

事業内容：

○ウォーキングイベントを通した南湖公園周辺の魅力発信
○南湖公園竹灯籠ライトアップ
○「南湖煮ぼうとう」の開発
○渋沢栄一講演会
○マンガ作成やマスコミ等を活用した南湖公園のＰＲ

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	3,418	3,804
補助金	-	2,228	2,536

＜　南湖公園竹灯籠ライトアップ　＞

＜ 南湖煮ぼうとう ＞

事業の成果・効果

○市外へも竹灯籠の関心が広がり、多くの問い合わせがあった。
○メディアに取り上げられたことで「南湖煮ぼうとう」が連日完売となり、南湖公園の冬期の集客に繋がった。
○東北公益文科大学図書館で開催された渋沢栄一展に、作成したマンガと南湖公園のパンフレットが展示され、県外の学生にもＰＲすることができた。

今後の展開等

○南湖公園の四季折々の魅力や新しい楽しみ方を SNS やマスコミ等を活用し発信する。
○単発的なイベントとならないよう他イベントや施設と連携し、相乗効果を狙う。

（10）Shirakawa Week 2021

一般枠

継続２年目

【実施団体名】　Shirakawa Week 実行委員会(白河市)

事業の目的

県南地方出身や県南地方と関係を持つ大学生が、同じ地縁を持つ後輩の成長に関わる文化をつくり、地域を担う人材育成の循環を地域にもたらすことを目標に、地域課題を解決するための活動を実施する。

事業の内容

事業内容：

○「白河若者会議 2021」
・地域に住む高校生や若手社会人とともに、実現したい地域の理想像について議論するワークショップを実施。

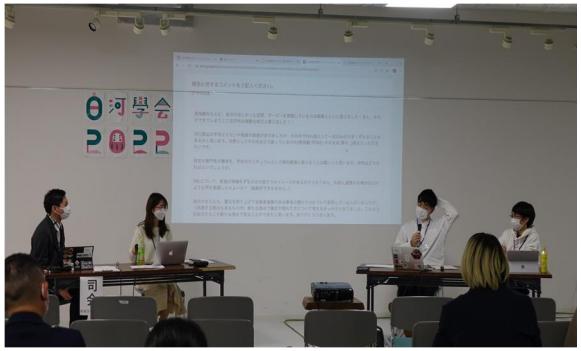
○「白河學会 2022」
・白河出身・ゆかりのある大学生の卒業論文や、白河を含む地域で取り組んでいる実践活動について、地域住民に広く発表し、若者の学びの見える化を行った。

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	578	1,035
補助金	-	385	680

<白河若者会議 2021>

＜　白河學会 2022　＞



事業の成果・効果

○県南地域に縁のある大学生が、地域住民や高校生と交流しながら共にイベント開催したことで、若者同士のネットワークと地域との関係性を構築・深化することができた。

○県内だけでなく、全国各地の若者政策に関わる事業者や専門家もイベントに参加してくださり、若年層の地域社会参画という分野において、先進的な地域であることを示すことができた。

今後の展開等

○白河地域から離れていても地域の課題解決に携われることができる機会づくりやネットワーキング。

○しらかわ地域の高校生との交流機会を増やし、循環する人材育成モデルを構築する。

（11）ドライブスルー白河マルシェ

一般枠

継続２年目

【実施団体名】　公益財団法人白河観光物産協会(白河市)

事業の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ事業者を応援するため、地域生産者とともに協力し、選りすぐりの食材を消費者に安心・安全な環境で提供する。また、食材が売れにくくなっている状況を打破すべく、地元食材の魅力を最大限に活用したオリジナルメニューを学生と協同で考案し販売することで、地産地消の促進を図り地域活性化に繋げていく。

事業の内容

事業内容：

○ドライブスルー白河マルシェ
・選りすぐりの食材を、新しい生活様式を踏まえたドライブスルー形式で販売した。
○地域活性化事業
・白河実業高等学校農業科の生徒と共同で地元食材を使用した新メニュー（ヤンニョムチキンバーガー、たまごサンド）を作成した。

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	538	543
補助金	-	358	356

＜ ドライブスルー白河マルシェ ＞

＜ ヤンニョムチキンバーガー ＞

事業の成果・効果

○管内各市町村と連携を図り、それぞれの特色を活かしたオリジナル商品を販売したところ、大盛況により完売となり、受付終了後も購入希望者から多数の問い合わせが寄せられた。
○白河実業高校の生徒から、自分たちが生産した食材を購入者へ直接届けたいとボランティア活動を志願する声が多数あり、イベント運営に積極的に協力いただけた。

今後の展開等

○インターネット販売なども検討し、地域に根付いた生産物を消費者のニーズに合った形で提供していく環境づくりを目指す。

（12）白河”オンライン”だるま市開催事業

一般枠

継続２年目

【実施団体名】　白河だるま事業協同組合(白河市)

事業の目的

白河だるま市の開催が危ぶまれている中、実際に現地に足を運ばずだるま市を楽しむことができるコンテンツをオンラインで提供し、白河だるま市の認知拡大・持続的な発展をめざす。

事業の内容

事業内容：

○オンラインだるま市の開催
白河”オンライン”だるま市と白河ミニだるま市を同時開催。
オンラインだるま市では、ダルライザーによる地域商店街やどんど焼きの紹介、だるまランド会場内撮影など２時間に及ぶライブ配信を実施。
ミニだるま市では、だるまのみの販売会を実施した。

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	8,310	2,970
補助金	-	5,000	1,930

＜ 白河ミニだるま市の開催 ＞

＜ 白河オンラインだるま市の配信の様子 ＞

事業の成果・効果

○新型コロナウイルスの影響により、２年連続で白河だるま市が中止となったが、だるま市に出店予定だった事業者にもイベントに参加してもらったことで地域活性化に繋がった。
○オンラインでチャットを絡ませたことにより、白河にいなくてもダルライザーとのやりとりができ、視聴者の地域理解に寄与した。

今後の展開等

○リーチする人、年間での再生回数を増やしていく。
○自社店舗や協力先のリアルチャネルでも過去の録画を放送することにより、さらなる誘客・認知拡大を行う。

（13）翔んで 白河の関

一般枠

継続２年目

【実施団体名】　青空バル実行委員会（西郷村）

事業の目的

福島県の南の玄関口に位置する西郷村において、福島県の日本酒をはじめとする食文化や温泉、自然など、多くの観光資源を広く PR し、新たな人の流れを創出することを目的に、栃木県県北地域の関係事業者を巻き込んだイベントや交流会を開催する。

事業の内容

事業内容：

○オンライン青空バル（インスタライブ）＆勉強会（Zoom）
・日本酒や特産品の PR
・パンフレットの配布　等
○日本一の村西郷村　思い出フォトコンテスト
・SNS に思い出の写真とエピソードを投稿してもらうことで、西郷村の特産品や名所、住環境等を PR

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	827	660
補助金	-	513	287

＜ オンライン勉強会（インスタライブ） ＞

＜ フォトコンテスト ＞

事業の成果・効果

○オンライン勉強会や試食・試飲を通じ、地場産品への理解を深めることで地域住民を中心に地産地消を促すことができた。
○フォトコンテストでは、住民ひとりひとりが地域の PR を担うことで、外向きだけでなく内向きの理解を得ることができた。

今後の展開等

○リアルでのイベント開催により、さらに周辺地域との連携、交流人口の増加を目指す。
○日々の情報発信に努めるとともに、近隣の店舗などの紹介に繋げていく。

（14）地元プロゴルファーによる「ふくしまゴルフプロジェクト」応援・支援事業

一般枠

継続２年目

【実施団体名】　福島県プロゴルフ会大会運営事務局(西郷村)

事業の目的

東北唯一の男子プロゴルフツアーが開催されるとともに、多くのゴルフ場を有する県南地方で、ゴルフ熱を高め、ゴルフファンを増やすことを目的に、地域のプロゴルファーによる、ジュニアを含むアマチュアゴルファーとの交流事業を行う。

事業の内容

事業内容：

○ジュニアゴルフ合宿･･･ジュニアゴルファーを対象とした２泊３日の合宿
○ジュニアゴルフ大会･･･県南地域のゴルフ場を中心にジュニア大会を年５回開催
○プロと Jr.ゴルファー交流会･･･プロゴルファーとラウンドや練習を実施
○プロアマゴルフ大会･･･プロとアマチュアによる大会を開催

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費 （補助対象）	-	4,314 （3,017）	4,498 （3,150）
補助金	-	1,463	1,593

＜ ジュニアゴルフ合宿 ＞

＜ プロと Jr.ゴルファー交流会 ＞

事業の成果・効果

○コロナ禍の中、イベントの開催により、県南地区のゴルフ場への利用促進に繋がった。
○プロアマゴルフ大会において、コンペ賞品に県南地域の特産品を提供したことにより、PR に繋がった。

今後の展開等

○IOT の活用やスケジュールの見直しにより、実施内容の更なる充実を図り、参加者の満足度を上げる。
○TV などのメディアや SNS を利用して広報力を強化し、認知度を上げる。

（15）にしごう祭り

一般枠

継続２年目

【実施団体名】　にしごう祭り実行委員会(西郷村)

事業の目的

福島第一原発事故の風評被害による観光客等の減少や、村内企業の人手不足といった課題を解決するため、村内の名所や地元企業の PR を行う機会を創出し、村民のみならず周辺地域住民に対しても西郷村の良さを知っていただき、郷土愛の向上や労働力の確保に繋げる。

事業の内容

事業内容：

○リアル宝探しイベントの開催
・村内の観光地、企業、名所を利用した宝探しイベントの実施

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	5,296	-	4,147
補助金	3,007	-	2,580

＜ 宝探しイベントのリーフレット ＞

＜ イベント参加賞 ＞

事業の成果・効果

○イベントに協力いただいた企業、観光地など、改めて郷土を知ってもらう機会となった。
○宝探しの達成者の約 35%が県外参加者であることから、県外に向けて、西郷村の特産品や企業などの PR 効果が得られた。
○参加者が任意に SNS で本イベントを投稿していて、イベント終了後にも景品を通した特産品などの PR 効果が得られた。

今後の展開等

○多くの方が参加し、楽しめる事業の企画を行っていく。
○子どもが参加しやすく、次世代にも繋がっていくイベントの開催を通して、西郷村の魅力を発信していく。

（16）若者たちと考える。6 次化商品の開発・PR 販売事業

一般枠

継続２年目

【実施団体名】　矢吹町バンド連合会(矢吹町)

事業の目的

高校や短期大学校がある矢吹町で、若者たちが自分たちのアイデアを活用した 6 次化商品の開発及び地域の食材や伝統食の PR を行うことで、若者たちが地域に興味を持ち、「自分たちの町を知り・考え・創る」場を創出することを目指す。

事業の内容

事業内容：

○地域特産品 PR イベントの開催･･･やぶき夏フェスの開催
○キッチンカーによる地域のメニューPR･･･町内や県内イベント、福島ファイヤーボンズホームゲーム等
○試作した 6 次化商品の試食･･･ナポリ坦々まぜそばの試食（50 食配布）
○6 次化商品の開発試作･･･矢吹町産ローズヒップの生産・商品試作

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	1,009	1,320
補助金	-	651	797

＜ やぶき夏フェス ＞

＜ 学生と考案した新商品・ナポリ坦々まぜそば ＞

事業の成果・効果

○キッチンカーで県南地域の特産品を使ったメニューを販売するにあたり、購入者が県南地域の魅力を感じ、リピーターや SNS での投稿が増加した。
○この事業をきっかけに、福島県農業短期大学校で設立されたまちづくりサークルの学生と共に新商品の開発を行ったことで、学生がより地域に密着した活動ができた。

今後の展開等

○キッチンカーの機動力をさらに活かし、県外においても県南地域の魅力を PR する。
○1 次産業から 6 次化商品開発に携われるよう関係団体と連携し、特産品 PR の底上げを図る。

（17）Fukushima348（みよや）まあるい旅奥州玄関口編

一般枠

継続２年目

【実施団体名】　一般社団法人ニワトコ(棚倉町)

事業の目的

インバウンドの海外旅行者や経済的に余裕のある国内歴史愛好家等をターゲットに、県南地方への観光誘客を図るため、「県南地域まるごとテーマパーク」をコンセプトに、上野駅を起点とした、水戸・棚倉・新白河を巡る全長 348km の旅を提案するための事業を展開する。

＜１日レストラン＞

事業の内容

事業内容：

○“十六ささげ”プロジェクト
○関係人口&歴史愛好家たち誘致プロジェクト
・地域の食材を活用した「1 日レストラン」
・「おもてなし」のための地元勉強会
・「蒟蒻いなり」「芋がら」手土産＆駅弁プロジェクト
・プロモーション動画の配信　等

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	6,521	5,905
補助金	-	3,750	3,500

＜仏大使館総料理長とスタッフ＞

事業の成果・効果

○著名人による１日レストランを開催したことにより、歴史建造物や古民家、伝統食を知ってもらい、福島県及び県南地域の PR に繋がった。
○“十六ささげ”は新たな文化財、キラーコンテンツとなる可能性を有しているとツアー客から好評だった。

今後の展開等

○児童や学生の郷土愛も借りながら、品性ある“大人の観光”を目指していく。
○引き続き歴史的財産である古民家を利用した事業を展開していく。

（18）県南地方狛犬の里づくり

一般枠

継続３年目

【実施団体名】　福島県県南地方狛犬ネットワーク(白河市)

事業の目的

県南・県中地方において、明治時代に活躍した小松利平、小松寅吉、小林和平の子弟三代石工が制作した狛犬は、他に類を見ない独創的なデザインで近年注目が集まっている。そこで、狛犬を観光資源として広く PR し交流人口の拡大を図るとともに、歴史的文化財として保存活動の意義を高め後世に伝承する。

＜　狛犬勉強会　＞

事業の内容

事業内容：

○狛犬モニターツアーの開催
○狛犬勉強会の開催
○狛犬等石造物 PR 活動
○狛犬勉強会・セミナーの開催

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	781	515	580
補助金	514	337	356

＜ 狛犬セミナー ＞

事業の成果・効果

○コロナ禍ではあったが、狛犬セミナーには 132 名の参加があったほか、狛犬勉強会では新たに狛犬の知識を深めてもらうことができた。
○「狛犬のまち・しらかわ」への協力の影響で、他県から県南地域へ来訪する人が増えるなど、他事業との連携で相乗効果が得られた。

今後の展開等

○作成したガイドブックを活用し、勉強会の開催などを通じて、案内人を養成していく。
○Facebook での発信だけでなく、ホームページの開設など広報力を強化していく。

（19）芭蕉白河の関俳句賞事業

一般枠

継続３年目

【実施団体名】　芭蕉白河の関俳句賞実行委員会(白河市)

事業の目的

松尾芭蕉が白河を訪れて 330 年の節目の年に、多くの風流人が憧れた歌枕の地「白河」を題材とした俳句を募集した文芸賞を開催する。地域の文化芸術資源を再確認し、文芸文化の向上を図るとともに、歴史・史跡等を全国に PR することで交流人口の増加に寄与する。

事業の内容

事業内容：

○「芭蕉白河の関俳句賞」の開催
○俳句教室の開催
○俳句出前教室の開催
○当日投句会の開催

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費 （補助対象）	1,443 （907）	1,234 （918）	1,406 （1,065）
補助金	602	540	540

＜ 小学校出前教室 ＞

＜ 表彰式 ＞

事業の成果・効果

○県内にとどまらず、日本全国、また外国人から計 5,710 句もの応募があり、関係人口・交流人口の観点として大きな成果があった。
○俳句教室や小学校出前教室を通じ、当日投句会への参加や募集があり、文芸文化の普及に一定の効果が見られた。

今後の展開等

○初心者やジュニア世代に俳句文化を浸透させる取組や、俳句愛好家同士の吟行等、交流人口の輪を広げていく。
○事業費面において、参加者負担など実施方法の見直しを行う。

（20）郷土未来人材育成プロジェクト

一般枠

新　規

【実施団体名】　白河商工会議所青年部(白河市)

事業の目的

次代を担う子供達に対して、様々な体験や歴史に触れされることで白河の新たな魅力を発見し、地域を知るきっかけ作りをすることで、子供達の豊かな想像力や思考力コミュニケーション能力などを養うと共に物事をやり遂げる達成感を伝える。

＜ 市内散策の様子 ＞

事業の内容

事業内容：

○行って！みっぺ！白河探検隊！！
・市内の小学４～６年生が、自分たちだけでタクシーに乗り、様々な体験や白河市の歴史を散策する。

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	1,013（965）
補助金	-	-	638

＜ 集合写真 ＞

事業の成果・効果

○事業実施により、白河市の魅力を PR することができ、地域活性化と交流人口の拡大に寄与した。
○子どもたちの楽しむ姿が見て取れたことから、コロナ禍においても可能な範囲で事業を実施し、地域を盛り上げることの重要性を再認識した。

今後の展開等

○地域の子どもたちのみならず、幅広い世代へ白河市の魅力を発信していく。
○地域に賑わいを創出するとともに、子どもたちが地元に愛着を持つ契機をつくっていきたい。

（21）スポーツの力で地域ブランディング

一般枠

新　規

【実施団体名】　公益社団法人白河青年会議所財政室(白河市)

事業の目的

地域の子ども達がスポーツを通して諦めない姿勢、挑戦し続ける気持ちの大切さを学ぶ機会を創出し、既存チームの活動や学校、スポーツ施設等の活性を通して、地域や社会との関係性を深めることで、将来的に地域振興に寄与できる人材育成を図る。

事業の内容

事業内容：

○講演会の実施
・元プロ野球選手の清原氏による講演会
○パンフレットの作成・配布
・スポーツ少年団チームのプロフィールをまとめたパンフレット
・各市町村施設や産業施設等へ配布

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	2,312
補助金	-	-	1,080

＜ 講演会 ＞

＜ チーム紹介パンフレット ＞

事業の成果・効果

○逆境を乗り越え大きく復活した清原氏の講演により、子どもたちは諦めない姿勢や挑戦し続ける気持ちの大切さを学ぶことができた。
○講演会に参加したスポーツ少年団チームをまとめたパンフレットの作成・配布により、底辺拡大による地域住民同士のコミュニケーション増加や交流促進・活性化などに繋がった。

今後の展開等

○外部団体との積極的な連携を図り、地域住民との交流・地域振興として有形施設を使用し、更なる関係人口増加に繋げる。
○参加料の徴取などで資金調達を図り、継続的な事業運営をしていく。

（22）リノベーション@本町キタウラ事業

一般枠

新　規

【実施団体名】　しらかわ本町未来研究所（白河市）

事業の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、町全体の閉塞感や個人同士のつながりが希薄になっていることに加え、高齢化等により地域で活動する担い手が不足しています。

これからの地域の活動の担い手となる学生（中・高校生および大学生）と共に事業を実施することにより、若い世代と地域の大人とのつながりや新しいコミュニティの形成に役立てていく。

＜ 準備の様子 ＞

事業の内容

事業内容：

○公園整備
・インスタ映えするモニュメントの作成
・イルミネーションの設置
○SNS の活用
・活動の様子を各種 SNS で発信

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	699
補助金	-	-	460

＜ イルミネーション点灯式 ＞

事業の成果・効果

○学生との共同作業により、公園は狙い通り目を引くようなスポットとなり、学生の社会貢献としての大きな経験となった。
○SNS を見た家族連れや子どもたちが写真を撮りに来るなど、人が集まるスポットとなり、地域住民の交流などが図られた。

今後の展開等

○SNS での投稿回数を増やし、目標（SNS のいいね数）を引き上げていく。
○別の空き地を活用した映えスポットを作り、新たな提案をしていく。

（23）しらかわにぎわいプロジェクト

一般枠

新　規

【実施団体名】　しらかわにぎわいプロジェクト実行委員会(白河市)

事業の目的

With コロナを前提とした新たな旅行方法・観光メニューの提案として、観光客の回遊促進と地域の魅力向上を目的とし、『密』を避けつつ観光を楽しめるデジタルスタンプラリーを開催する。また、スタンプラリーの景品としては、県内の六次化商品をはじめ、県内の特産品を中心に集め、参加者にプレゼントすることで地場産品の消費拡大につなげる。

事業の内容

事業内容：

○「県南９市町村をめぐるスタンプラリー」の開催
・管内各市町村を対象地域に、観光施設や名所をめぐるスタンプラリー
・令和３年 11 月～令和４年１月の紅葉・観光シーズンに実施

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	1,024
補助金	-	-	670

＜ スタンプラリー取得画面、QR コード ＞

＜ 景品の特産品 ＞

事業の成果・効果

○県内９市町村の観光名所など全 27 カ所にスタンプラリーを設置し、観光客の回遊促進や地域経済の活性化に貢献できた。
○スタンプラリーの景品を県南９市町村から厳選した特産品にすることで、地場産品の消費拡大と PR につなげることができた。

今後の展開等

○人が動きやすい時期など、開催時期の検討を行う。
○景品の特産品が白河市のものに偏りがあったため、各地域から集めていきたい。

（24）はなわのダリア体験型イベント創設事業

一般枠

継続３年目

【実施団体名】　一般社団法人塙町観光協会(塙町)

事業の目的

近年、低迷している湯遊ランドはなわダリア園の来園者数の回復を図るため、SNS やスマートフォンアプリを活用した事業を展開する等、新たなコンテンツにて「ダリアのまち」を広く PR することで、新規来園者の獲得とリピーターへの定着を目指す。

事業の内容

事業内容：

○PR 事業
・SNS を活用した PR･･･ワークショップの様子を撮影・編集し、Twitter と LINE の広告機能を使って動画の PR を実施。

○体験型イベント事業
・はなわのダリアマップスタンプラリー
・はなわのダリア各種ワークショップ（摘み取り、つまみ細工づくり等）

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	1,733（1,495）	991	1,022
補助金	944	639	639

＜ ダリアアレンジメント体験教室 ＞

<SNS による情報発信>

事業の成果・効果

○塙町内の企業がオープンした「摘み取り専門のダリア園」が大きな話題を集めたことにより、「はなわのダリア体験型イベント」も参加者数を伸ばすことができた。
○事業期間内に協働した「株式会社タカハシ印刷（棚倉町）」さんが「塙町観光協会」の会員に登録した。町外からの登録は初事例となった。

今後の展開等

○スタンプラリーの宣伝周知に注力し、多くの来町者の獲得を目指す。
○SNS での情報発信を継続し、より効果の高い活用を図る。

（25）にしごう健幸づくり事業

旧健康枠

新　規

【実施団体名】　西郷村(西郷村)

事業の目的

普段運動する習慣がない高齢者に対し、運動を始める契機や健康に対する意識付けをし、生活習慣の改善や介護予防・健康寿命の延伸につなげ、高齢者が長く活躍できる社会の推進を図る。

事業の内容

事業内容：

○シニア健康教室
　村内の６５歳以上の住民を対象とした運動講座を開催。
○介護予防サポーター養成講座（自主グループの運営に協力できる者）
　村内で自主的に開催されている、運動教室の運営補助を行うボランティアの育成講座
○お元気運動教室（介護予防）といきいき教室（介護度の重症化の予防）
　６５歳以上の村民を対象とし、参加者の健康状態に応じて、筋力アップの運動等を行う。
〇講演会（健康な生活習慣を確立する）

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	5,932
補助金	-	-	4,381

＜ お元気運動教室 ＞

＜ 介護予防サポーター養成講座 ＞

事業の成果・効果

○教室終了後に参加者間の交流が図られただけでなく、教室をきっかけに健康増進活動を継続して行うようになった。
○講演会を通じて、参加者の健康意識や地域の介護予防への意識の向上に繋がった。

今後の展開等

○地域の高齢者の活動を支援していく。
○運動や栄養、口腔等健康などアプローチを多角的に行い、地域の健康及び健康意識のボトムアップを図る。

（26）お年寄り健康・いきがいづくり推進事業

旧健康枠

新　規

【実施団体名】　矢吹町(矢吹町)

事業の目的

概ね 50 歳以上の住民を対象に「ことぶき大学（定期的に講座を開く）」に登録してもらい、近くの公民館等で健康体操、参加者との交流を通して、「健康づくり」及び「生きがいづくり」を実施する。

事業の内容

事業内容：

○健康講座
○健康体操（歌体操、脳トレ、リフレッシュ体操等）
○ふれあい*いきいきサロン
　地域のネットワークづくり等のため、主に高齢者を対象に町内の集会所等を利用し、健康体操やレクリエーションを開催する。

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	6,123
補助金	-	-	4,480

＜ ことぶき大学本講座開講式 ＞

＜ ふれあい*いきいきサロン「民話まつり」 ＞

事業の成果・効果

○ことぶき大学講座で「SDGs」をテーマに講演会を行うことで参加者が自らの生活を見直す良い機会となった。
○ふれあい*いきいきサロン参加者同士で支え合う雰囲気が醸成され、地域コミュニティの形成に寄与することができた。

今後の展開等

○参加者の意向を取り入れ、地域人材を活用した講座を開設する。
○新たな趣味サロン等を立ち上げ年代別の地域サロンを開拓する。

（27）強く逞しくなろう！生きるとは挑戦すること！

旧健康枠

継続３年目

【実施団体名】　公益社団法人白河青年会議所企画室(白河市)

事業の目的

県南地方の小学生を対象に、様々な体験を通して交流と気づき・学びを得て、健康な心身を育てる機会とし、情操教育・食育・健康増進につなげる。

＜ 体験の様子 ＞

事業の内容

事業内容：

○SotomaNavi スタンプラリー
情報発信の特設サイトを作成し、NFC シールを活用したスタンプラリーを開催。スタンプは西白河郡５市町村に設置し、設置場所で自然体験をしてもらった。
○SNS フォトコンテスト
＃SotomaNavi ＃白河 JC を付けて、Instagram に投稿してもらい、最優秀賞、優秀賞を選出した。

総事業費：

（千円）	H30	R1	R3
事業費（補助対象）	935	1,306	1,137
補助金	610	823	749

＜ スタンプラリー設置状況 ＞

事業の成果・効果

○特設サイト内の観光地点情報やアクティビティ情報を活用していただき、西白河郡５市町村の観光施設にて体験活動の機会となったとともに、地域の観光資源の発見にも繋がった。
○感染症流行下においても、直接体験の機会を創出するモデルケースとなった。

今後の展開等

○今後も他団体と連携をとりながら事業を継続し、県南地域を広く活用した事業とするほか、直接体験機会の創出につなげていく。
○宣伝方法や事業そのものの発信方法を工夫していく。

（28）強く逞しくなろう！生きるとは挑戦すること！

旧健康枠

継続３年目

【実施団体名】　矢吹町体育協会（矢吹町）

事業の目的

各種競技大会及び AED・救命講習会を通じて「町民や地域の活力を取り入れた生涯スポーツの推進」及び「さらなる地域活性化と郷土愛の醸成・地域力アップ」を目指す。

事業の内容

事業内容：

○各種競技大会
７月～11 月にかけ、野球やスナッグゴルフなど計 10 種の競技大会を開催。
○AED・救命講習会
３月６日、心肺蘇生法に係る講義及び実技訓練の講習会を開催。

総事業費：

（千円）	H30	R1	R3
事業費（補助対象）	300	0	515
補助金	225	0	342

＜ 各種競技大会（吹矢） ＞

＜ AED・救命講習会 ＞

事業の成果・効果

○救命講習会を開催したことにより、交流のなかった町内スポーツ団体関係者と子育て支援団体関係者の交流の場となり、連携して新たな支援事業を検討する契機となった。
○コロナ禍での運動不足やストレスにより心身の健康維持が課題となっている状況下で、各種競技大会を開催したことで、運動不足の解消やストレス発散につながり、心身の健康増進と生涯スポーツ推進に大きく寄与した。

今後の展開等

○より徹底したコロナ対策を講じ、開催できない競技大会がなくなるように努める。
○人命救助の知識は、何度も学び体に染みさせることと最新の知識を学ぶことが必要であるため、定期的に講習会を開催していく。

（29）高齢者の筋肉づくり講座

旧健康枠

継続３年目

【実施団体名】　矢祭町(矢祭町)

事業の目的

地域の一般高齢者を対象に、週１回保健福祉センターにおいて、トレーニング機器を用いて運動を実施し、フレイル（加齢による体力の衰え）の予防等健康増進を図る。

＜ ココトレ石井 ＞

事業の内容

事業内容：

○ココトレ石井
・健康増進に取り組む高齢者に対し、月曜～木曜の午後にトレーニングルームを開放し、運動器具を活用した自主的な運動の機会を提供する。

○マダヤールクラブ
・送迎が必要な高齢者を対象に、トレーニングルームの器具を活用した運動等の機会を提供し、健康の維持増進や健康意識の向上及び介護予防普及啓発を図る。

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	951	447	1,064
補助金	712	334	798

＜ マダヤールクラブ ＞

事業の成果・効果

○参加者の外出する機会が増え、高齢者の運動の良い機会となり、介護予防の意識付けとなった。
○健康に対する高齢者の意識付けを行うことができた。
○健康の維持・増進につながる結果が出た。(身体機能の維持、向上者割合 78.4%)

今後の展開等

○トレーニングルームの開放時間延長を検討し、より参加者の健康増進を図る。
○有効な広報等により認知度を高め、参加者の増加を図る。

（30）しらかわ産業活性化・復興支援事業

市町村枠

新　規

【実施団体名】　白河市（白河市）

事業の目的

首都圏から地方への流れに勢いが生まれている中、UIJ ターンや移住・二地域居住を促進するため、新たなサテライトオフィスへの誘導や創業支援の強化、地域農業の経営指導など雇用の受け皿を創出する。また、空き家・空き店舗等を創業場所や観光施設として提供するとともに、地域ブランドの創出による PR や販路拡大により、持続的な地域活性化を図る。

事業の内容

事業内容：

○創業者支援事業
・LINE@を活用して地元企業や補助金等の情報発信を行い、UIJ ターンの促進を図ったほか、創業に必要な知識を習得するための「創業塾」を開催。
○農業支援事業
・「農産物ブランド白河しろもの」認証制度や農業経営に関する講習会を開催。
○まちなか活性化事業
・フリーマーケットや子ども向けワークショップの開催、まち歩きスタンプラリーを実施したほか、空き家・空き店舗対策として、空き家バンクへの登録促進や、物件紹介により、利活用を促進。

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	12,575
補助金	-	-	9,155

＜ 映える写真の撮り方講座 ＞

＜ omocha フリマ ＞

事業の成果・効果

○「創業塾」をはじめとした創業支援によって、数多くの人が開業し、中心市街地の活性化や雇用創出に貢献した。
○「白河市創業者支援施設らくり」では、創業者同士や地域の方がコミュニケーションできるようイベントを開催し、創業機運の醸成に寄与した。
○全国規模の地方移住希望者向けのイベントに出展し、移住を検討している方に対し、白河市の魅力を PR することができた。

今後の展開等

○首都圏からの人材確保により、企業の人手不足解消に努め、更なる創業を推進する。
○コワーキングスペースを拠点に入居企業と地元企業・市内企業家とのマッチングを進め、地元企業の活性化・雇用創出を図る。

（31）農産物産館まるごと西郷館を核とした産業振興事業

市町村枠

新　規

【実施団体名】　西郷村(西郷村)

事業の目的

域内人口が減少する中、都心部居住の村出身者の回帰や移住等による農業従事者の確保を図るとともに、「まるごと西郷館」を核として都市住民との交流促進と地域の発展を併せた地域振興に繋げるための産業振興体制の構築を進める。

事業の内容

事業内容：

○農産物産館まるごと西郷館を核とした産業振興事業
　・村内事業者による委員会の設立
　・情報発信についての勉強会の開催
○村出身者等へのアンケート調査
○移住・定住に向けたパンフレットの作成

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	4,336
補助金	-	-	3,251

＜ 委員会 ＞

＜ 移住・定住パンフレット＞

事業の成果・効果

○委員会の委員同士の連携推進が図られることで、特産品開発への意欲向上などの効果が生まれた。
○「まるごと西郷館」の来館者数や農産物等の出品業者数が向上した。

今後の展開等

○委員会の各構成員が主体となって実施している事業について、他委員が実施する事業と相乗効果が図れるイベントを実施することで、地域全体の活性化への意識醸成を図る。

（32）「持続可能な開発目標（SDGs）」で開拓するYABUKI2030 プロジェクト事業

市町村枠

新　規

【実施団体名】　矢吹町（矢吹町）

事業の目的

持続可能なまちづくりを実現するため、SDGs を住民や事業者に浸透させていくとともに、町外からの事業者や移住者を積極的に呼び込むなど、地域力を低下させない取組に力を入れていく。

事業の内容

事業内容：

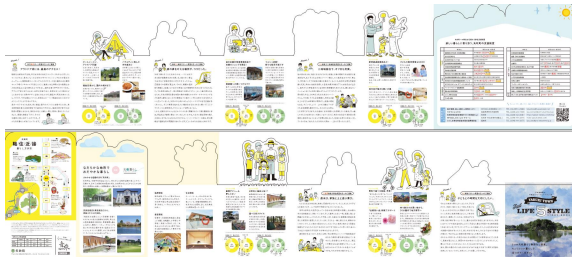
○町内向けの SDGs 啓発活動の実施
・啓発用の冊子を作成し、町内の小学校高学年・中学生に配布。
・町民向けに全世帯へ回覧を実施。
○持続可能なまちづくりのための移住者の呼び込み活動
・架空の移住ストーリーと実際の生活費のシミュレーションを掲載した「矢吹ライフスタイルブック」の作成とポータルサイトの整備。

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	-	3,898
補助金	-	-	2,923

＜ SDGs 啓発冊子 ＞

＜ 矢吹ライフスタイルブック ＞



事業の成果・効果

○SDGs について、町民向けに啓発活動を実施したことで、SDGs の浸透が進んだ。
○移住者向け冊子の作成により、移住希望者からの相談が 3 件あり、移住先として矢吹町を検討する機会を得ることができた。

今後の展開等

○より SDGs を理解しやすい啓発活動や情報発信の方法を検討し、持続可能なまちづくりを進めていく。
○移住希望者向けの情報発信等を活発に行っていく。

（33）美しい村づくりステージアップ事業

市町村枠

新　規

【実施団体名】　鮫川村(鮫川村)

事業の目的

里山の景観や鮫川村の人々等の村内の「美しいもの」を鮫川村民が認識し、それを後世に引き継ぐ為の事業（村の魅力発掘教室、村の美景撮影教室など）を行うことで、費用を抑制しながら幸福度の高い村づくりを図ることを目的とする。

事業の内容

事業内容：

○村の魅力発掘教室・・・・小中学生に対し、地域と繋がりのある外部講師から地域の魅力を学ぶ
○四季の風景づくり事業・・シルバー人材の力で地域の景観整備活動を行う
○村の美景撮影教室・・・・写真家を講師に向かえて地域の風景を素材とした写真教室を開催する
○美味満喫ツアー事業・・首都圏住民を対象とした村の魅力を満喫するツアーを開催
○人材育成事業・・・・・村内の中・高生を対象とした未来の村の担い手を育成する。

総事業費：

（千円）	-	-	R3
事業費（補助対象）	-	-	9,352
補助金	-	-	7,482

＜ 村の魅力発掘教室 ＞

＜ 村の美景写真ワークショップ ＞

事業の成果・効果

○事業に参加した若者が自身の住む地域について深く考えることにより、改めて地元の魅力に改めて気づくきっかけとなった。
○事業後に村を再訪される方や来村した方の紹介で村を訪れる方がいて、関係人口拡大に繋がっている。

今後の展開等

○人材育成事業を展開してゆくことで、村民が楽しんでもらいながら参加を促したい。
○子ども達が作成したタイムラプス動画を村内外に広く視聴してもらう取組を行いたい。

（34）アジアンインバウンド誘致事業

市町村枠

継続２年目

【実施団体名】　ふくしま県南観光推進協議会(県南９市町村)

事業の目的

新型コロナウィルスの影響により、観光業をはじめ各業界が大きな打撃を受けている。そのような中、with コロナ＆アフターコロナを見据えて台湾を中心としたアジア地域に向けて情報発信をすることで、将来的な観光誘客につなげる。

事業の内容

事業内容：

○台湾台南市「和風文化祭」への出展及びプロモーション活動事業
・白河だるまをはじめとする県内の伝統工芸品を展示。
・繁体字で翻訳された県南地域の観光パンフレットを会場に配置。
○モニターツアー事業
・11 月 5 日～6 日の 2 日間にわたり、在日台湾人を対象に県南地域の観光地を巡る「県南地域の魅力を探るモニターツアー」を実施。

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	-	3,905	4,170
補助金	-	3,123	3,335

＜ 「和風文化祭」出展 ＞

＜ モニターツアー ＞

事業の成果・効果

○和風文化祭に出展することで、福島県の魅力を発信することができ、現地との交流を深めるきっかけになった。
○モニターツアー参加者と県南地域の住民との交流がうまれ、参加者が地域の魅力に触れてもらうことができた。

今後の展開等

○県南地域だけではなく、会津地域や栃木県那須町と連携し、広域的なモニターツアーを実施する。このことにより、本地域の知名度の向上をねらう。

（35）東白川地方自転車活用推進事業

市町村枠

継続3年目

【実施団体名】　東白川サイクリング推進会議(東白川郡)

事業の目的

サイクリストの走行ニーズが高い東白川郡４町村が連携することで、走行できるコースの距離や必要な周辺施設などを確保するとともに、自転車の走行環境、サイクリストの受入環境、サイクリングルート沿線の魅力づくり等に取り組み、ハード・ソフト両面から世界に誇るサイクリング環境の創出、交流人口の拡大、地域住民の定着を目指す。

＜「奥久慈サイクリング」＞

事業の内容

事業内容：

○令和３年度東白川地方自転車計画改訂版の策定
○自転車活用イベントの開催
○SNS・動画による PR

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	10,000	10,000	10,010
補助金	7,999	8,000	7,771

＜「奥久慈街道」の様子＞

事業の成果・効果

○事業を通じて、東白川４町村郡を始め、民間業者も巻き込んで、自転車活用推進に対する統一的な意識が醸成されてきている。
○観光庁が開設したランナーズインフォメーション研究所が認定する優れたサイクリングコースに奥久慈街道が認定された。

今後の展開等

○事業継続のための組織として、若手主体の官民一体となった組織設立に向けた準備を進めていく。

（36）総合結婚支援復興事業

市町村枠

継続３年目

【実施団体名】　「ふれあい」の場創出事業実行委員会(白河市・西白河郡・東白川郡)

事業の目的

地域の人口減少及び地域経済縮小の要因のひとつとなっている未婚化・晩婚化の解消と、東日本大震災からの復興を加速させる人材の定着を目的に、県南地方の独身男性を中心に総合結婚支援事業を行う。

事業の内容

事業内容：

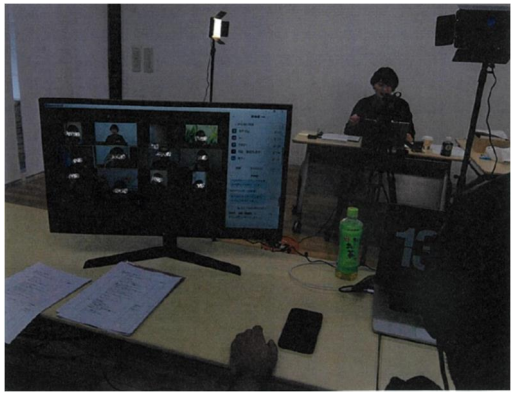
○「総合結婚支援イベント」の開催
　・オンラインによるお見合いイベント
○結婚支援者「世話やき人」育成事業の開催
　・地域の独身者の世話焼きをする“仲人”となりうる人材を育成する。
○イベント前独身者向け自己啓発セミナーの開催

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	6,924	-	4,418
補助金	4,955	-	3,078

<婚活セミナー>

<総合結婚支援イベント>



事業の成果・効果

○イベント参加者に県南の物産を送ったことにより、参加者に県南地域の魅力を発信することができた。
○県南地域外からの参加者があったため、県外から人を呼び込むきっかけとなるイベントとなりうる可能性があることが分かった。

今後の展開等

○オンラインによる婚活イベントの利点を活かし、引き続きオンラインイベントを継続させる。
○県南地域に特化した世話やき人制度の設立を目指す。

（37）わくわく棚倉城食フェスタ

市町村枠

継続３年目

【実施団体名】　棚倉町(棚倉町)

事業の目的

新型コロナウィルス感染症終息後の観光客回復及び交流人口の増加を図るため、町内の飲食店や観光地等と一体となったイベントを開催し、地域活性化に向けた意識の向上と結束力を高める。

事業の内容

事業内容：

わくわく！たなぐらスタンプラリー　10/1(金)～12/31(金)
○町内の事業所（飲食店、観光地等）を周遊するスタンプラリーを開催。
○スタンプラリー景品に町内の特産を選定し、参加者へ地元産業の PR
○テレビ CM やその他マスコミによる広告

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	8,858	-	7,232
補助金	6,644	-	5,423

＜ スタンプラリー ＞

＜ スタンプラリー景品 ＞

事業の成果・効果

○スタンプラリー終了後、参加事業所に対するアンケート調査で「利用客が増えた」等の回答があり地元産業の活性化に繋げることができた。
○スタンプラリーの一般参加者からも「棚倉町の良いところを知ることができた」など、今後の交流人口の拡大に期待ができる。

今後の展開等

○今後も事業を改善しながら、同様のスタンプラリーを開催してゆきたい。
○まち歩きを目的する事業をスタンプラリー以外にもつくり、地域活性化に繋げたい。

（38）塙町サイクル・ツーリズム推進事業

市町村枠

継続３年目

【実施団体名】　塙町(塙町)

事業の目的

「ツール・ド・はなわ」、「ポタリングはなわ」が認知されるようになり、参加者数が安定してきている。また、「三角の道」「奥久慈街道」の知名度の高さにより町外、県外から多くのサイクリストが来町している。
このような状況の中で、他地域との差別化を図るため地形や自然をそのまま生かした塙町独自のサイクル・ツーリズムの推進をする。

＜ ツール・ド・はなわ ＞

事業の内容

事業内容：

○自転車を活用したイベントの開催
「ツール・ド・はなわ」「ポタリングはなわ」
○観光振興型アプリを活用した長期間の町内周遊型イベントの実施
○自転車活用推進地域 PR のためのパンフレット作成

＜ ポタリングはなわ ＞

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	8,051	8,572	8,000
補助金	5,989	6,000	6,000

事業の成果・効果

○広域的なサイクルルートの確立や連携、各種団体が認定したサイクルコースが、他団体から評価、照会される事例となりつつある。
○町内の若年層におけるクロスバイク普及率の向上など、町民がサイクリストを身近に感じられる文化となった。

今後の展開等

○人口減少や地域経済活性化に寄与できるような自転車活用事業を行う。
○サイクリストが来町しやすい環境整備を引き続き継続する。

（39）高齢者への移動販売及び、首都圏イベントでの地場産品 PR 事業

過疎・中山間枠

継続３年目

【実施団体名】　特定非営利活動法人表郷ボランティアネットワーク(白河市)

事業の目的

交通手段のない表郷地区の高齢者世帯・一人暮らし世帯を対象に生活必需品の買い物支援、及び県外のイベントで地場産品を PR し、地域の活性化を図る。

事業の内容

事業内容：

○高齢者への生活支援としてのお買い物代行・移動販売事業
○首都圏イベントでの地場産品及び６次化商品 PR 事業

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	366	472	531
補助金	322	424	451

＜ お買物代行事業 ＞

＜ 戸田市イベントでのおから餅配布 ＞

事業の成果・効果

○コロナ禍で思うように外出できない、普段はバイクで外出できても雪や凍結などで買い物に行けない高齢者などについて、地域包括支援センターから情報をもらい、連携することができた。
○継続して実施してきたお買い物代行事業が認められ、関係機関からの情報提供や依頼が増えてきた。

今後の展開等

○地場産品を活用した６次化商品を開発し、収益事業を確立して事業の運営維持に努めていく。
○利用者の満足度が高くなるようなサービスを提供していく。

（40）もっちょり（持ち寄り）ば～ばのパラダイス and マルシェ

過疎・中山間枠

継続３年目

【実施団体名】　農村女性高齢者生きがいづくり支援の会(鮫川村)

事業の目的

子供から高齢者までの地域住民が楽しく集える場所をつくり、地域住民の生きがいづくりを行う。また、広域的な交流も密に行い、所得の向上と地域貢献を目標とする。

事業の内容

事業内容：

○地域住民を対象とした農産物・加工品等の販売

総事業費：

（千円）	R1	R2	R3
事業費（補助対象）	1,450	601	950
補助金	1,248	527	808

＜ もっちょりば~ばのマルシェ① ＞

＜ もっちょりば~ばのマルシェ② ＞

事業の成果・効果

○高齢者の引きこもり防止や話題の提供、村の伝統食の見直し等に貢献した。
○地元酪農家とのコラボ料理をおいしく楽しんで頂くための農産物加工機械の整備と直売所のスペース確保、プレハブハウスの設置を行った。
○近隣の婦人グループや、行政、家庭教育インストラクター県南の会など、話を伺いたいと多数反響があった。

今後の展開等

○農産物、加工品等の販売
○田舎暮らし体験（ツアーの受け入れ）
○地域の観光資源（強滝・古道・石仏など）を活かし１年中集客したい。